

 日本システムバンク株式会社

# 第2四半期（中間期）決算説明会

2026年6月期

2026年2月27日



証券コード  
5530

## 目次

- 01 - 会社紹介
- 02 - 2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算報告
- 03 - 成長戦略
- 04 - 2026年6月期 業績及び配当予想
- 05 - トピックス

01

---

# 会社紹介

---

## 会社概要

会社名	日本システムバンク株式会社
設立	1996年7月10日
資本金	5億8,551万円（2025年12月末時点）
売上高	78億7,689万円（2025年6月期）
従業員数	229名（2025年12月末時点）
事業内容	コインパーキング事業 プロパティマネジメント事業
本社所在地	福井県福井市中央3-5-21 東京都渋谷区渋谷1-7-5
支店所在地	市川市、町田市、さいたま市、横浜市、長野市、富山市、 金沢市、福井市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、 広島市、福岡市
グループ会社	ノルテパーク株式会社(札幌市) システムパーク株式会社(仙台市) イーアド株式会社(福井市)

安全

First Choice

選ばれる駐車場

安心

快適

安全・安心・快適な駐車場づくりを推進し、  
より多くのお客様にとっての  
「First Choice」を目指す。

# 事業概要

コインパーキング(CP)事業とプロパティマネジメント(PM)事業の2セグメント体制。主力のCP事業では、自らCPを経営する「CP運営ビジネス」と、CPシステムの構築・保守を行う「CPシステム販売保守ビジネス」を展開

## コインパーキング事業

### CP運営ビジネス



- 土地を借り上げ、直営駐車場として運営

### CPシステム販売保守ビジネス



- ニーズに応じた機器の選定・造成工事
- システム保守・コールセンターサービスの提供

## プロパティマネジメント事業



- テナントビル賃貸ビジネス

連結売上高※ 構成

**98.7%**

**1.3%**

管理駐車場  
構成

件数※

**18.7%**(1,332件)

**81.3%**(5,789件)

車室数※

**15.4%**(23,352車室)

**84.6%**(128,592車室)

※ 2026年6月期 第2四半期(中間期)末時点の実績。決算短信における報告セグメントに含まれてない事業を除く

02

---

# 2026年6月期 第2四半期(中間期) 決算報告

---

## 第2四半期(中間期) 決算ハイライト(連結)

### 売上高

40.1億円

増減率 +3.0%

### 営業利益

3.1億円

増減率 +9.0%

### 親会社株主に 帰属する 中間純利益

2.4億円

増減率 +32.3%

### 外部環境

- ・ 良好な雇用所得環境が続く中、娯楽関連を中心にサービス消費が堅調となり個人消費は緩やかに回復
- ・ 企業では人手不足やDX化等の課題解決に向けた積極投資と、賃上げの継続等を背景に価格転嫁が進展

### 各事業への影響

#### CP運営

経済の緩やかな回復が消費者および事業者の外出機会を増やし、コインパーキングの稼働は堅調に推移

#### CPシステム 販売保守

コインパーキングの好調な稼働を背景に、駐車場運営事業者は新規開設に対する積極姿勢を維持。既存コインパーキングでは、キャッシュレス決済への対応等に向けた設備の更新が増加

#### PM

市場では今後の金利上昇を見越し、利回り基準上昇による買い控えが進む一方、駆け込み需要も顕在化。ポートフォリオの最適化を目的に一部の賃貸ビルおよび土地を譲渡したことで、賃貸収入は減少

# 第2四半期(中間期) 中間純利益の増加要因について

売上高

40.1億円

増減率 +3.0%

営業利益

3.1億円

増減率 +9.0%

親会社株主に  
帰属する 中間純利益

2.4億円

増減率 +32.3%

当初見込み  
(第3四半期以降)  
を前倒し

事業譲渡益

0.3億円

連結子会社であるノルテパーク株式会社において、北海道函館地区の  
コインパーキング事業を譲渡

ポートフォリオの見直し

投資有価証券売却益

0.2億円

取引先銀行との関係維持・強化を目的として相互に保有してきた有価  
証券(特定投資株式)を譲渡

資本効率の向上・ガバナンスの強化

## 第2四半期(中間期) 連結経営成績

前年同期比で増収増益となり、売上・各利益とも計画を上回る

(百万円)

	2025年6月期	2026年6月期		増減率 (増減額)	2026年6月期 計画※1	計画比
		実績	売上比			
売上高	3,902	4,017	—	+3.0% (+115)	3,999	+100.5%
営業利益	292	319	7.9%	+9.0% (+27)	249	+128.0%
経常利益	289	307	7.6%	+6.1% (+18)	240	+128.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	184	244	6.1%	+32.3% (+60)	143	+170.6%
1株当たり中間純利益※2	80.68円	106.64円	—	(+25.96円)	62.60円	+44.04円

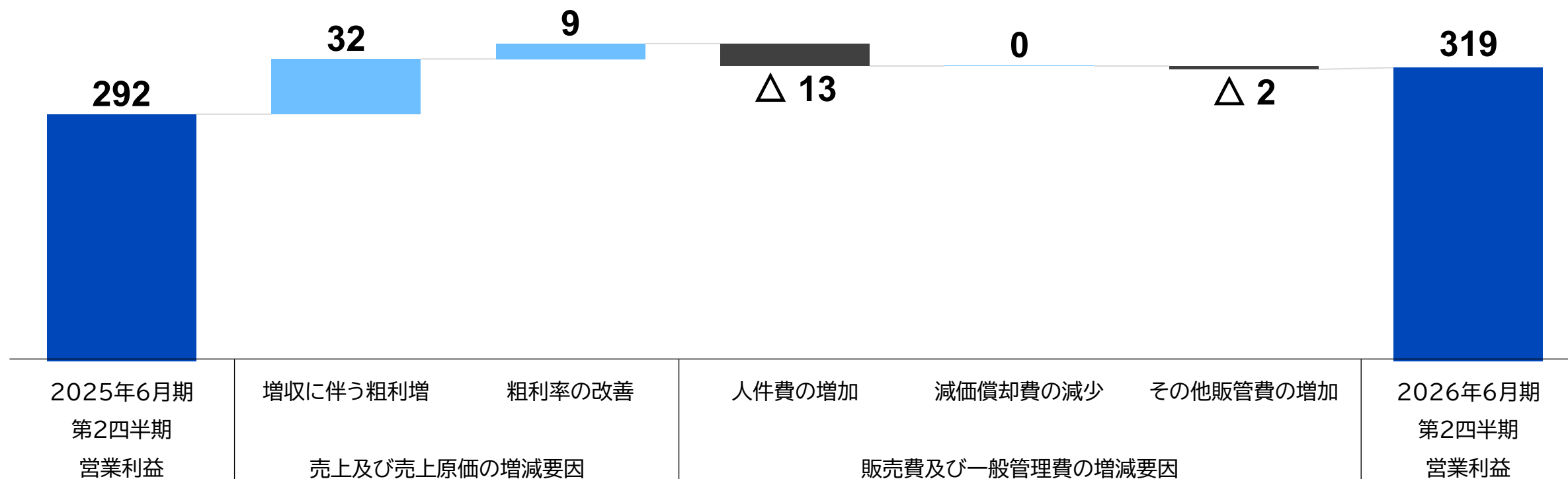
※1 2025年8月13日公表値

※2 2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、1株当たり当期純利益の表示は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定した数値です

## 連結営業利益 増減分析(第2四半期)

直営駐車場の開設および駐車場システムの販売が好調に推移し、管理受託駐車場数も順調に増加したことで増収。増収効果により販管費の増加を吸収し、前年同期比で増益。

(百万円)



## 中間連結貸借対照表

事業ポートフォリオの見直し等により固定資産を圧縮し、手元流動性が向上。  
自己資本比率も35.4%へ向上し、財務体質がさらに健全化

(百万円)

	2025年 6月期	2026年 6月期中間	増減額
<b>流動資産</b>	<b>2,383</b>	<b>2,934</b>	<b>+551</b>
現預金	1,527	2,153	+625
売掛金・前払費用	751	675	△74
棚卸資産	85	90	+5
<b>固定資産</b>	<b>4,728</b>	<b>4,530</b>	<b>△197</b>
有形固定資産	4,298	4,147	△151
機械装置及び運搬具	541	582	+41
土地	2,851	2,719	△132
無形固定資産	102	89	△13
投資その他の資産	327	294	△33
<b>資産合計</b>	<b>7,111</b>	<b>7,465</b>	<b>+354</b>

	2025年 6月期	2026年 6月期中間	増減額
<b>流動負債</b>	<b>1,920</b>	<b>1,995</b>	<b>+75</b>
買掛金・未払費用	557	524	△33
未払法人税等	77	148	+71
未払消費税等	49	80	+31
長期借入金 (1年以内返済)	625	747	+122
賞与引当金	114	0	△114
<b>固定負債</b>	<b>2,736</b>	<b>2,824</b>	<b>+88</b>
長期借入金	2,063	2,148	+85
<b>純資産</b>	<b>2,455</b>	<b>2,645</b>	<b>+190</b>
利益剰余金	1,207	1,405	+198
<b>負債・純資産合計</b>	<b>7,111</b>	<b>7,465</b>	<b>+354</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>34.5%</b>	<b>35.4%</b>	<b>+0.9pt</b>
<b>有利子負債</b>	<b>2,694</b>	<b>2,897</b>	<b>+203</b>
<b>DEレシオ</b>	<b>1.10倍</b>	<b>1.10倍</b>	<b>-</b>

# 中間連結キャッシュ・フロー計算書

コインパーキング事業の成長による税金等調整前中間純利益の増加と事業ポートフォリオ見直しに伴う賃貸用不動産等の譲渡によってFCFが大幅黒字化し、財務安全性が向上

	(百万円)		
	2025年6月期	2026年6月期	増減額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>309</b>	<b>414</b>	+105
税金等調整前中間純利益	284	371	
減価償却費	188	212	
売上債権の増減額(△は増加)	58	62	
仕入債務の増減額(△は減少)	△52	△82	
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29	31	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△408</b>	<b>53</b>	+461
定期預金の預入による支出	-	△60	
定期預金の払戻による収入	-	60	
投資有価証券の売却による収入	6	51	
有形固定資産の取得による支出	△365	△241	
有形固定資産の売却による収入	0	199	
無形固定資産の取得による支出	△37	0	
事業譲渡による収入	-	51	
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>△99</b>	<b>467</b>	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△95</b>	<b>157</b>	+252
長期借入れによる収入	300	600	
長期借入の返済による支出	△335	△393	
配当金の支払額	△45	△45	
<b>現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△195</b>	<b>625</b>	
<b>現金及び現金同等物の残高</b>	<b>1,199</b>	<b>2,093</b>	

## CP機器を取得 (機械装置の増加)

- ・直営駐車場・駐輪場の新規開設
- ・既存駐車場のフラップレス化
- ・キャッシュレス決済端末の設置 等

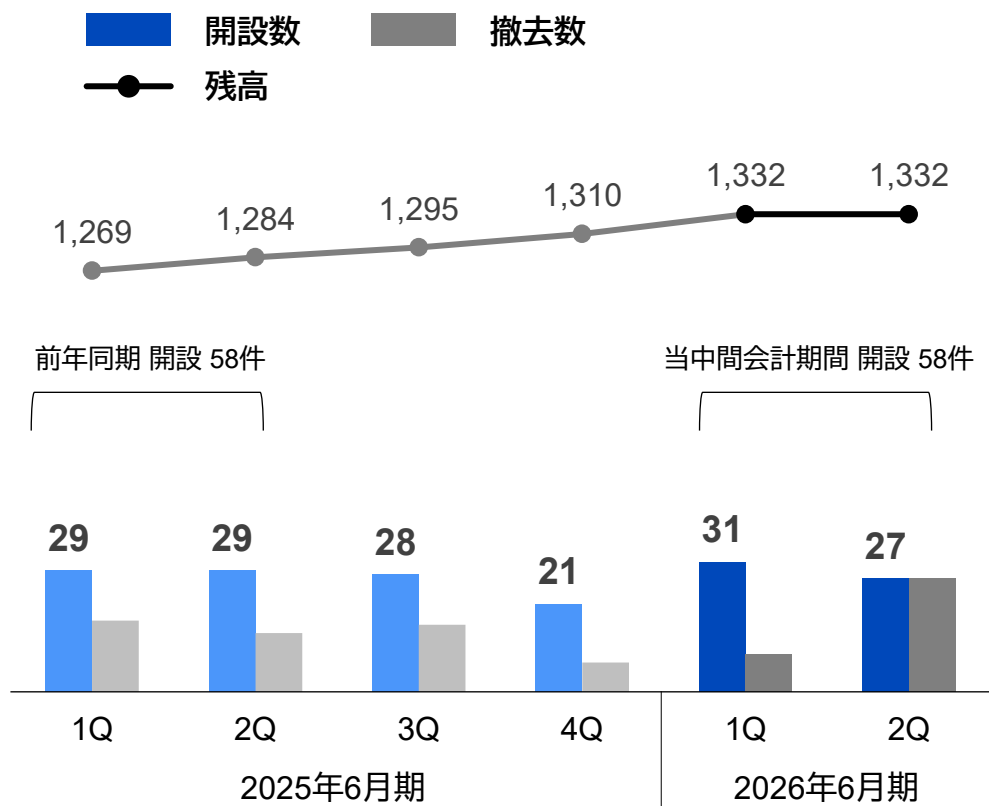
## 賃貸用不動産の譲渡

## 函館地区コインパーキング事業の譲渡

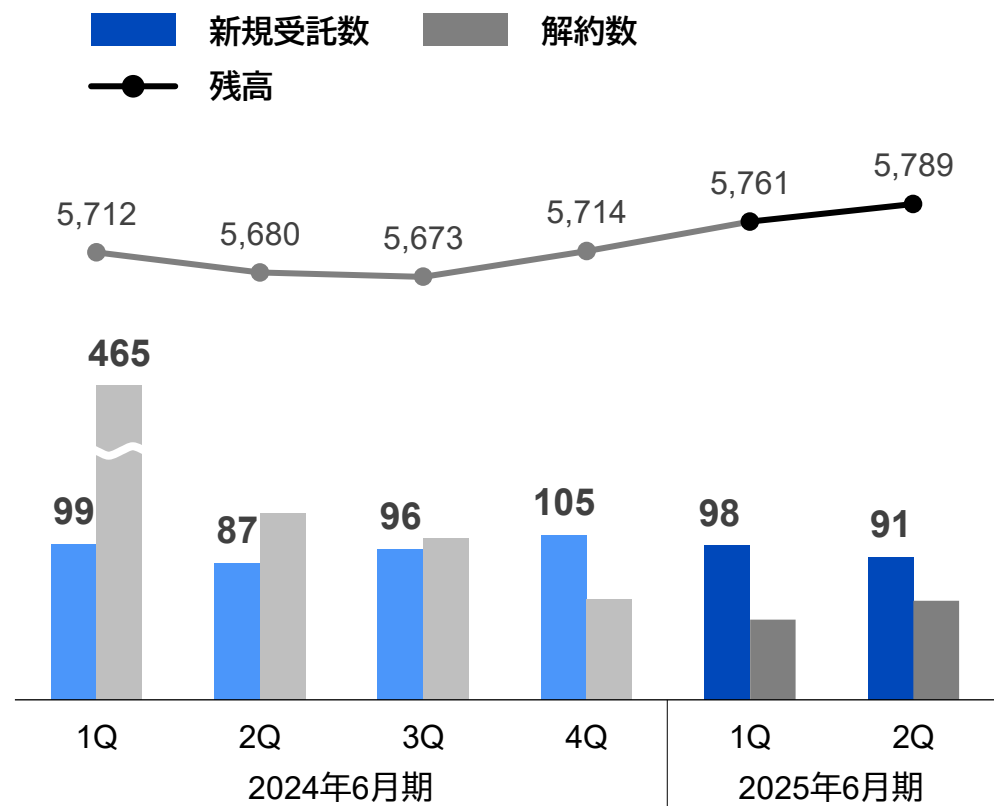
# 駐車場・駐輪場の開設状況等

直営駐車場・駐輪場の残高は、函館エリアのマイナスの影響があったものの、前年と同等の開設数を確保したことで増加。  
 管理受託駐車場・駐輪場の残高は、首都圏および関西圏を中心に新規受託が好調に推移したことで増加

## 直営駐車場・駐輪場の開設数・撤去数および残高



## 管理受託駐車場・駐輪場の新規受託数・解約数および残高



03

---

# 成長戦略

---

# 基本方針

コインパーキング事業の持続的成長に向けた、強みを活かした直営駐車場の展開と駐車場運営事業者サポート体制の強化  
環境変化に柔軟に対応し、堅実な内部統制と先進的な事業運営の両立

## 事業戦略

- 01 -

### CP事業の拡大

- 直営駐車場及び管理受託駐車場を軸とするストックビジネスの強化
- 顧客ニーズをとらえた機器・システム等の最適化と新サービスの開発
- 土地オーナー向け機器販売の強化

- 02 -

### サービス品質の向上

- 自社運営コールセンターと全国保守ネットワークを活用した運営サポートの強化
- メンテナンススタッフの資格取得推進による保守点検作業の品質向上
- カメラを起点とした管理品質向上(防犯・不正防止・故障発見等)

## 経営基盤強化

- 03 -

### コーポレートガバナンス の強化

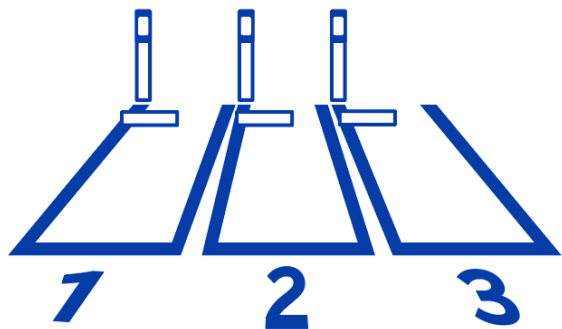
- 社外役員の多様性・専門性を活かした意思決定の高度化
- 証憑類のペーパーレス・データ化に向けたシステム整備・最適化
- DXを見据えたITによるリスクマネジメント

# 「3つの“Less”」で選ばれる駐車場づくりを推進

事業戦略においては引き続き「3つの“Less”」を推進。  
お客様に選ばれる安全・安心・快適な駐車場のさらなる普及を図る

## FlapLess

フラップレス



駐車スペースが広くフラットで  
駐車、乗降車のときに安全

## CashLess

キャッシュレス



硬貨つまりなどが起こらず  
利用者に安心感を提供

## StressLess

ストレスレス



高品質な保守と電話対応で  
快適な利用をサポート

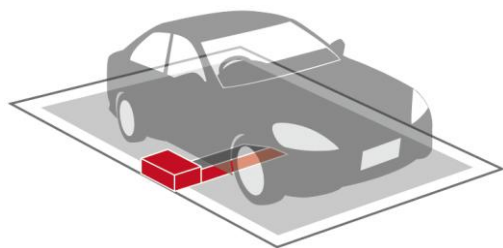
# 主力事業の拡大 – フラップレスの推進

直営駐車場の新規開設はチケット式駐車場の割合が想定を上回り、フラップレス式駐車場の開設数が下振れ。同様な傾向が続くことで、フラップレス駐車場の期末残高は計画比89%程度となる見込み

## FlapLess

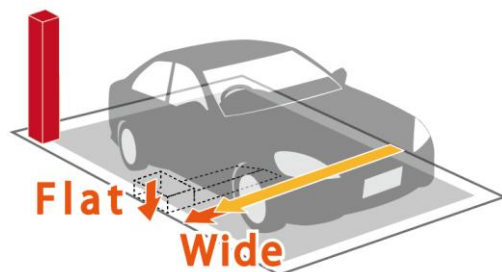
### フラップレス

フラップ式駐車場  
(普及率:高)



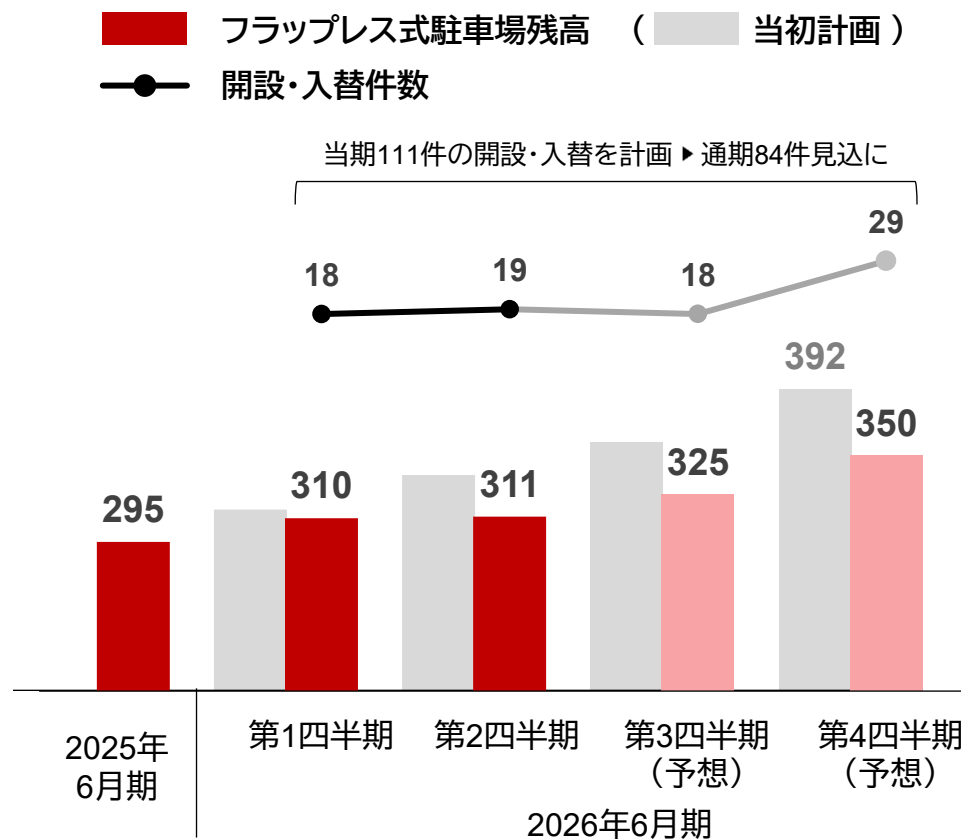
- フラップの幅分だけ駐車スペースが狭い
- 機器故障時は出庫できないケースがあるためクレーム化しやすい

フラップレス式駐車場  
(普及率:低)



- 広スペースで駐車・乗降車が容易
- 降雪や冠水等の自然災害に強い
- 機器故障時には出庫を優先することもできる

## 直営駐車場におけるフラップレス式駐車場の推移

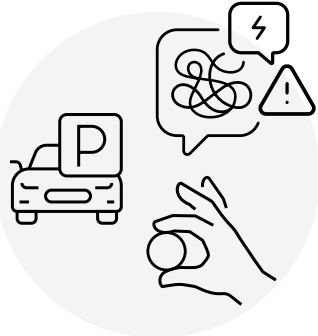


# 主力事業の拡大 - キャッシュレスの推進①

利便性を高める機器・サービスの強化を図る上で、当期も駐車料金のキャッシュレス決済システムの導入を継続。直営駐車場・駐輪場におけるキャッシュレス決済率の伸びは小幅となったものの20%台に到達

## CashLess キャッシュレス

### 現金精算の場合



- 硬貨つまり、識別不良などが起きることがありクレーム化しやすい

### キャッシュレス決済の場合



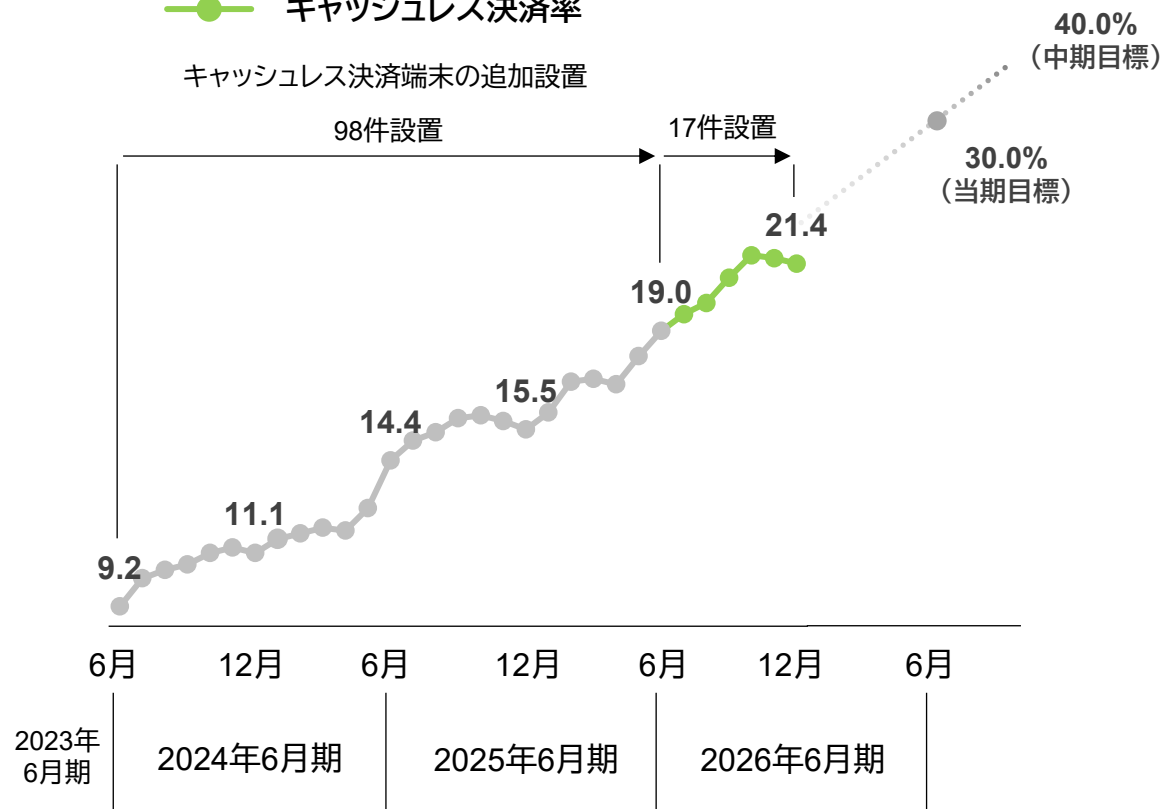
- キャッシュレス化によってトラブルの発生を削減

### ■ キャッシュレス決済率の推移※

※ 直営駐車場・駐輪場の売上高に占めるキャッシュレス決済額の割合

●—● キャッシュレス決済率

キャッシュレス決済端末の追加設置

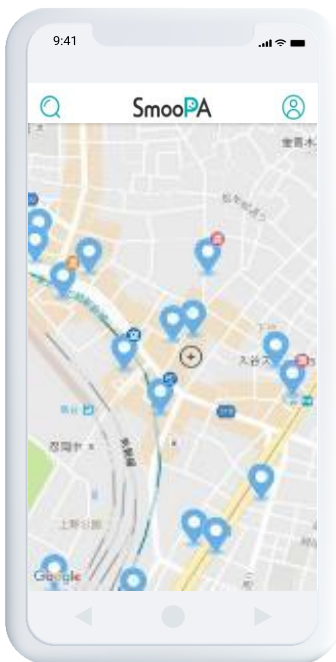


# 主力事業の拡大 – キャッシュレスの推進②

駐車場検索・決済アプリ「SmooPA」は管理受託駐車場への導入が好調となり、決済件数・アクティブユーザー数が大きく増加。いずれも当期目標を上回る水準となり、引き続き中期目標に向けて更なる成長を目指す

## CashLess

## キャッシュレス

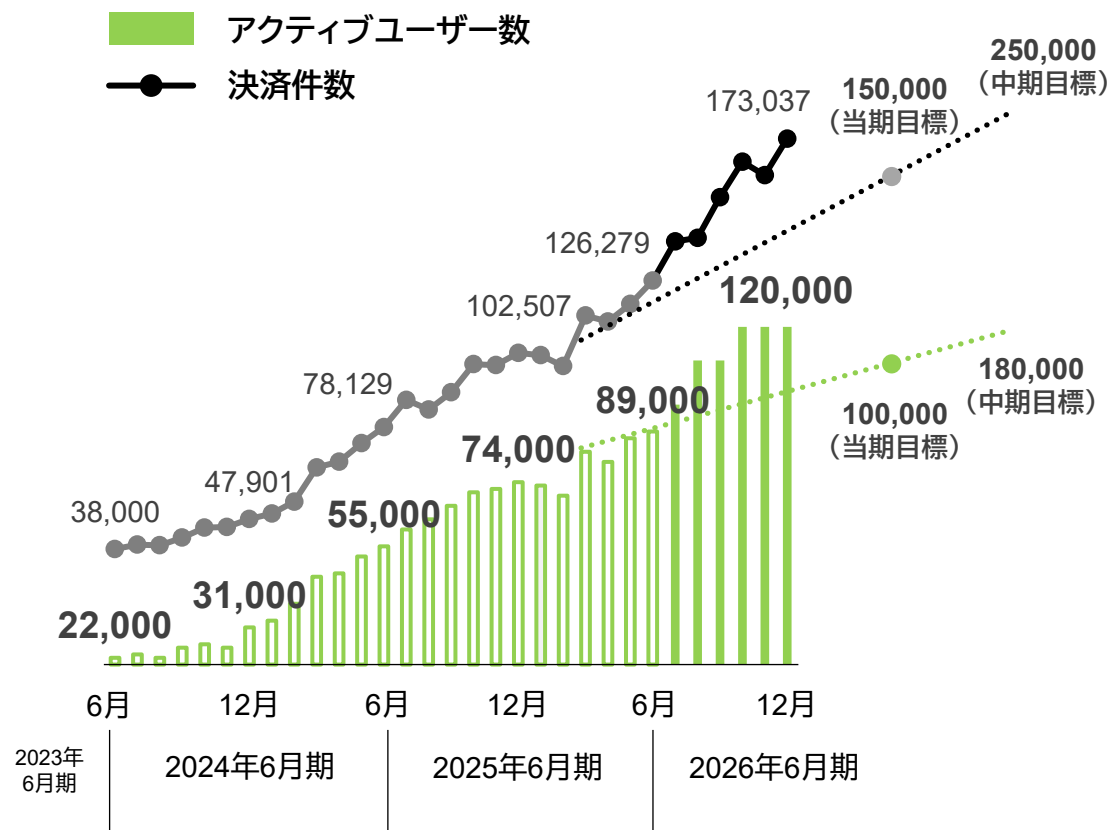


駐車場検索&決済アプリ  
SmooPA(スムーパ)

# SmooPA

- 空いている駐車場を一発検索
- アプリ上でキャッシュレス決済
- 法人一括請求サービスを利用すれば経費精算の手間も削減

### SmooPAのアクティブユーザー数および決済件数



# サービス品質の向上 – ストレスレス駐車場の実現

利用者・オーナーの双方にとってストレスのない安全・安心・快適な駐車場の運営に向け、社員教育を強化。メンテナンススタッフでは新規の電気工事士資格取得者はなく、社員の入れ替わりの影響もあり資格保有率は低下

## StressLess

## ストレスレス

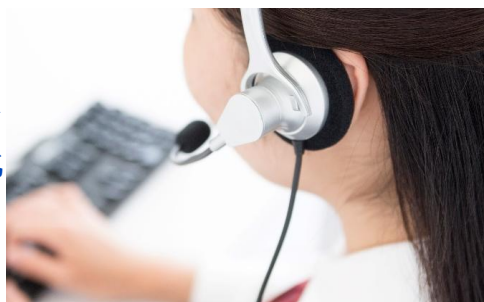
有資格者による  
定期点検・早期復旧



- ・メンテナンススタッフの資格取得を推進し、保守点検作業の品質を高め故障を未然に防止

連携強化

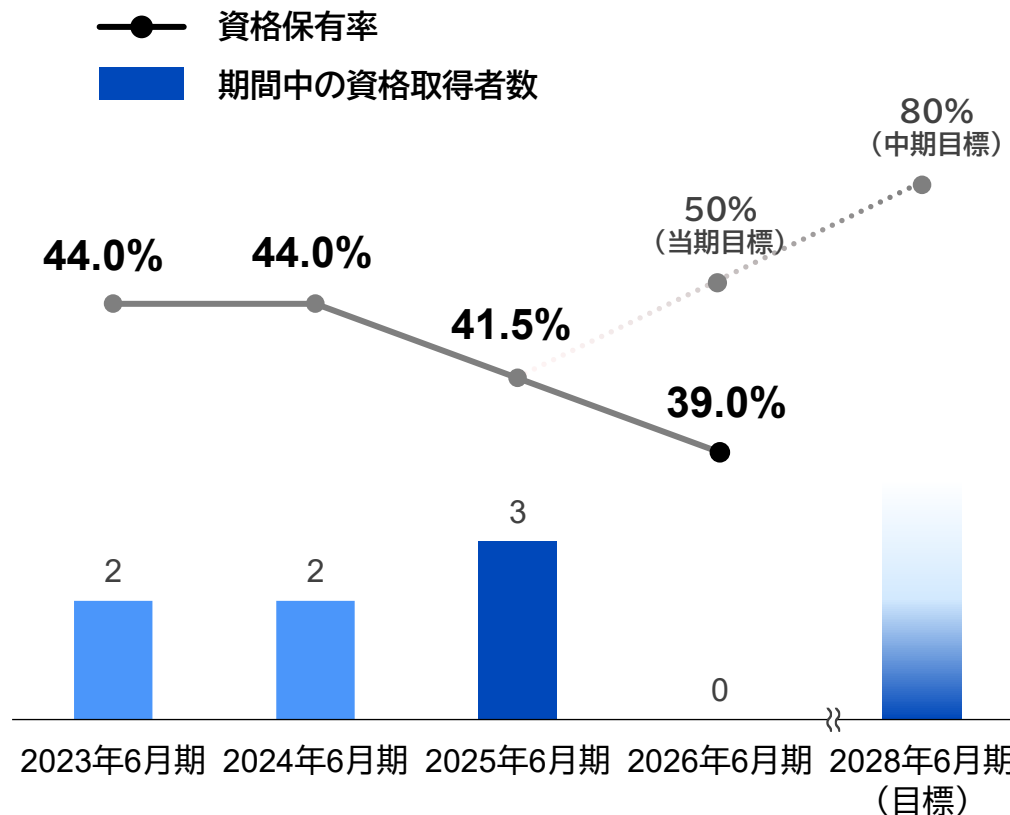
もしもの時もつながりやすい  
コールセンター



- ・一次窓口となるコールセンターの品質維持
- ・トラブル未然防止による入電数減

### 第二種電気工事士の資格保有率の推移※

※ メンテナンススタッフに占める有資格者の割合



04

---

# 2026年6月期 業績及び配当予想

---

# 連結業績予想

(百万円)

	2025年6月期 実績	2026年6月期 予想	増減率(増減額)
	通期	通期	前期比
売上高	7,876	7,904	+0.4% (+27)
営業利益	426	396	△7.0% (△30)
経常利益	416	375	△9.8% (△39)
親会社株主に帰属 する当期純利益	247	227	△7.8% (△20)
1株あたり 当期純利益	107.89円	99.48円	△7.8% (△8.41円)

# 配当予想

	2025年6月期	2026年6月期 予想
1株当たり配当金(円)	64.0※1	32.0
中間配当金	24.0※1	12.0※2
期末配当金	40.0※1	20.0
配当金総額(百万円)	73	73
配当性向	29.7%	32.2%

※1 2025年6月期の配当金は、2025年7月1日付の株式分割(普通株式1株につき2株の割合で分割)実施前の実際の配当額を記載しています

※2 2026年6月期の中間配当金に関しては、2026年2月13日開催の取締役会において決議したものを記載しています

05

---

# トピックス

---

## トピックス

狭小空間点検ドローン「IBIS2」を展開する株式会社Liberawareと販売店契約を締結。※  
北陸地区初の「Gold Partner(1次販売店)」として、先進機器普及による社会問題解決の一翼を担うとともに、事業の成長を図る

### ■ Liberaware社製 IBIS2

- ・下水道、橋梁、トンネル等の点検ニーズが高まる中、安全かつ効率的に作業を行える国産ドローンとして注目が高まる
- ・ドローンスクールの運営ノウハウを活かし、Liberaware社認定講習カリキュラムにも対応予定



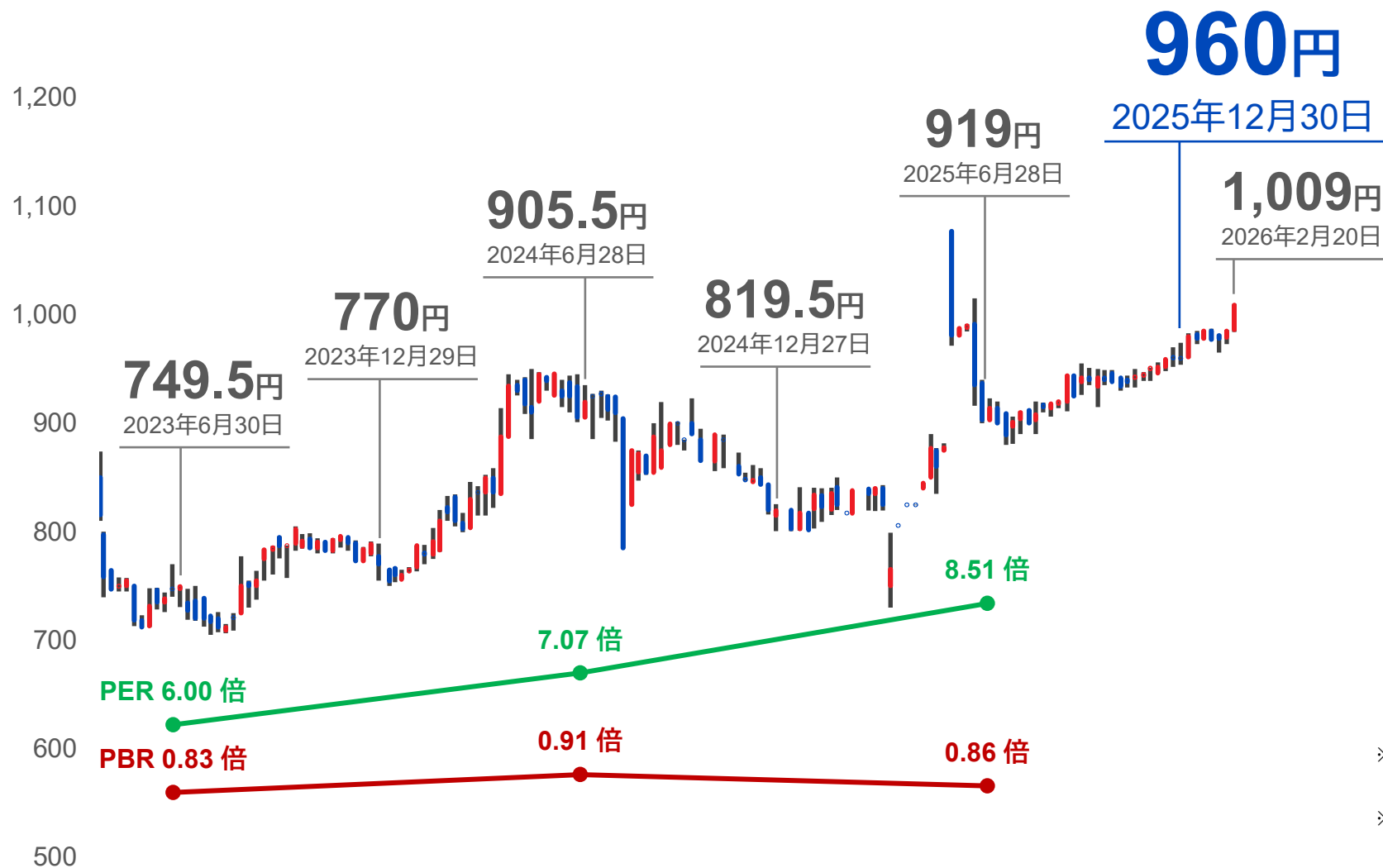
※当中間会計期間においてLiberaware社との調整を進め、2026年2月9日に販売店契約の締結および公表を実施

---

# 參考資料

---

## ■ 株価チャート(週足)



## ■ PER(予想) - 株価収益率 -

**9.65倍**※1

EPS - 1株当たり当期純利益 -  
**99.48円**

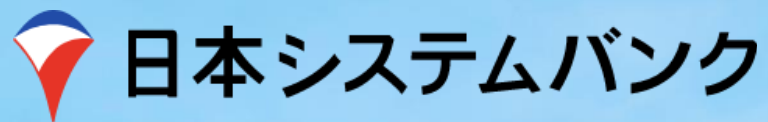
## ■ PBR - 株価純資産倍率 -

**0.83倍**※2

BPS - 1株当たり純資産 -  
**1,154.92円**

※1 2025年12月30日時点の株価と、公表済みの当期の連結業績予想に基づくEPSを用いて算定したものです。

※2 2025年12月30日時点の株価と、中間期末時点の純資産に基づき算定したものです。



## 免責事項

本資料における当社および当社グループの今後の計画、見通し、戦略等の将来情報に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績等の結果は、想定と大きく異なる可能性があります。これら将来情報に関する記述には、多様なリスクや不確実性が内在しています。なお、本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。